

一度離れたことで知ることができた加東市の良さ

眞 加東市には、小さくてキレイな公園が多くあるのが良いですね。他市からに移って子育てをした経験があるからこそ分かったことがあって、一つは小さくてキレイな公園が多いと思います。



播磨中央公園という大きな公園があるのはもちろん良いんですが、ずっと行っていると子どもが飽きちゃうんですね。

でも、住んでる家の近くに小さな公園が3つあって、子どもだけでも行けるのでとても良いです。

今日はこの公園、明日はこの公園っていうこともできるので、子どもが飽きにくいという点でも良いです。

― あと、特に滝野地域なんですけど、眼科とか小児科とか、小さなクリニックが増えてきて、とてもありがたいです。それもバラバラではなく、集まっているので、利用する側とすれば楽なので良いですね。

― 僕の実家がある市は、和式トイレが多かったんです。公園とか公共施設のほとんどが和式で、今は、和式トイレに慣れていない子どもがほとんどだと思うし、どうしてだろうと思ったことがありました。

それに比べて加東市は、小さな公園とかも洋式のトイレでしかもキレイ。

眞 妊娠中、和式のトイレは本当にしんどいので、小さなことかもしれないですけど、とても重要なことだと思います。

平等な子育て施策

― 1年で3万円支給される『スマイル交付金』は、加東市だけの制度ですし、だれでも平等に貰えるので良いですね。



他にも、今年度から小・中学校の給食費が無償化されたので、子育てしている側としたらとても助かっています。

他の市で両方の施策を行っているところは少ないので、加東市の子育て施策はとても良いと思います。

眞 赤ちゃんが産まれたら、加東市からおむつかミルクを無料で、しかも毎月家に届けてくれるんですね。

おむつかミルクとか、自分で買ってくるとなると、大きいし、重たいので、家まで持ってきていただけるのは助かりました。

あと、その時に配達員の方から「疲れていませんか?」「ちゃんと寝れていますか?」などメンタルケアもしてくれて、日中、私と子2人きりだったので、大人と話ができる機会があったのは、非常にありがたかったです。

あと、子どもの顔も毎月見てくれているので、一緒に成長を喜んでくれるのも嬉しかったです。

加東市を選んだ決め手

― 加東市は、スーパーもあるし、病院も集まっているし、小さな公園も多い、バスも通ってる、車があれば都市部まで簡単にいけるので交通の便も悪くない。本当に不便ないと思っています。

子どもを育てる人にとっては、すごくいい場所だと思います。

また、子どもたちが成長して、市外に住んだとしても、加東市の良さを改めて感じる、そんな場所だと思います。

1つ魅力的なものがある市があったとしても、『和式トイレが...』『病院が...』など、小さな不満が多いと、結果住みにくい、住みたくなくなると思います。

“小さくても、子育てする上で嬉しいものがある”

だから私たちは、加東市で子育てすることを決めました。

今井ファミリーの紹介

- ◆ 眞子さんの地元 加東市で第1子を出産し、子育てをスタート
- ◆ 一孝さんの実家がある市に移住、その約3か月後に第2子を出産し、2回目となる子育てをする
- ◆ 再び加東市に移り、第3子を出産、3回目の子育てをする

